

将来は障害者雇用の担当者になりたい!!!

株式会社オートテックジャパン

(四輪・二輪・汎用製品の研究開発・
品質保証管理業務／芳賀町)

【雇用障害者数】2名

清掃業務を担当するHさん（精神障害・統合失調症）について、事業管理部総務課の菊地主査にお伺いしました。



【採用・雇用のきっかけ】

平成23年10月、障害者合同面接会に参加し、障害者就業・生活支援センターの支援員と相談の上、実習の受入れを決定しました。

実習期間は2週間でしたが、Hさんは当時調子の悪い時期で、なかなか仕事が手につかない状態のようでした。それでも採用に踏み切ったのは、「障害者雇用を進めていく」という会社方針と共に、現実的な問題として納付金が経営を圧迫し、国からの指導などがあったことも理由として上げられます。

【雇用に際しての取組】

● アプローチ1 「会社内業種別障がい者適応マトリックス」に沿った職務選定

Hさんの場合も障害者のできる仕事を探す「社内マトリックス」（右表参照）を利用し、職務の選定は清掃業務とし、指導員をつけ作業に携わる体制を取りました。Hさんは当初、自ら汚れを見つけて清掃する、といった事が苦手に見受けられました。

社内障害者が出来る仕事を探す
会社内業種別障がい者適応マトリックス

社内業務	障害の別						
	身体障害者 内臓疾患	身体障害者 四肢障害	身体障害者 視覚・聴覚	身体障害者 統合失調症	身体障害者 その他	知的障害 知的障害	知的障害 知的障害
テストドライバー・ライダー	△	×	×	×	×	×	×
積込調整エンジニア	○	△	×	△	△	×	×
事務・経理・エンジニア	○	○	×	△	△	×	×
設計	○	○	×	△	△	×	×
検査・調整	○	△	×	△	△	×	×
製造	○	△	×	×	×	×	×
梱包・運送	○	○	△	△	△	×	×
送達（ス・シャトル車運転）	○	△	×	×	×	×	×
守備・保安（警備員）	○	○	△	△	△	×	△
事務・経理	○	△	×	○	○	△	○
設備管理・安全管理	○	△	×	○	○	△	○
清掃業務・洗車業務	○	△	×	○	○	○	○
作業満足ポイント	20ポイント	14ポイント	3ポイント	10ポイント	10ポイント	3ポイント	5ポイント

○=2P
△=1P
×=0P

● アプローチ2 社内の理解～採用後の様子

- 社内で障害者雇用への理解を深めるため、
- (1) 全従業員に対し、入社時に障害者雇用の研修を行う
 - (2) 障害者従業員の細かい分析
 - (3) 障害者特性の理解
 - (4) 実習期間での見極め



トイレ清掃の様子

などを行っていますが、(1)入社時の研修の一例として、障害者雇用の必要性(法定雇用率・企業としての責務等)や差別・偏見への理解などの説明を行っています。

また、管理職以上には障害者雇用推進の理解を求め、可能な仕事が担当職域にないか打診しています。

Hさん本人に関しては、実習時期は精神面が不安定でしたが、就労後は波があるものの、安定した時期には前向きに業務に励むなど、成長が見られました。

【職場定着のための配慮・工夫など】

保健師(看護師)の面談によるヘルプサポートなど行っています。

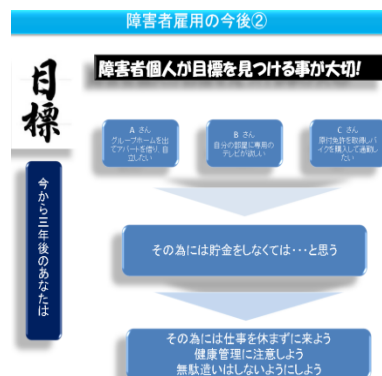
- (1) メンタルサポート…毎朝の声掛け、指導員や支援機関などに言えない悩み事相談
- (2) 栄養指導…食事指導(強いこだわりがあり、同じ食事を摂り続ける傾向があるため)
- (3) 衛生指導…入浴・着替え(定期的な入浴、衣服を清潔にすることなど)
- (4) 睡眠不足指導…指導員・支援機関・家族の協力も得て指導を行う

このように多岐にわたる指導を行うことで改善されている部分が多く、本人の意識の変化にもつながっています。

【現状と今後の課題】

現在就労している障害者の職場定着や継続のため、障害者が各自、今後の目標を見つけることが大切です。「3年後のあなたは?(何がしたい?何が出来るようになりたい?)」を具体的に掲げ、個々のモチベーションを保ちます。また、目標を達成するには、どうすべきか考えてもらいます。具体的な目標を持ち、職場定着してほしいと願っています。

精神障害者は感情の起伏が大きく、受入れ現場では何の対策もとらずに対応するのは大変です。従業員(健常者)の本音の部分も聞き入れ、障害者について細かく分析し、対応策を考えることでリスクを最小限に抑え、戦力として生かすことを心掛けています。



【Hさん(20代男性)へのインタビュー】

- Q. 現在はどんな仕事をしていますか?
- A. 清掃業務です。午前が社屋内、午後が屋外の清掃です。
- Q. 現在の仕事はどうですか?

1月の雪かき



A. 最初は手間取ることや教えてもらうばかりで、自分でも難しいと思いました。今は後輩もでき、仕事を教える立場になり、「周囲に認められたい」「みんなのために頑張りたい」などと思うようになりました。

先日雪が降ったあとは雪かきをしましたが、この仕事は人のために役に立つことができた、貢献したという満足感と、成し遂げたという充実感を感じることができ、楽しいと思いました。

Q. 今の職場はどうですか？

A. 今は後輩に仕事を教えていますが、逆に教えている後輩から教わることもあります。今後も「自分を大切にしたい、仕事を継続したい」と思っています。

Q. 将来の目標はありますか？

A. いずれ、社内で障害者雇用を担当したいと思っています。教える立場として、

- (1) 威圧的な態度はとらない
- (2) 優しく教えたい
- (3) 相手のペースに合わせてながら教えていきたい
- (4) 相手が十分に能力を発揮できるようにしたい
- (5) 自分の覚えたことを教えたい

などと考えています。

自分が障害者の希望になれば良いし、社会貢献をしたいと考えています。

Hさんは去年から一人暮らしを始め、「一人暮らしをすることで親の気持ちがわかりかけたような、また、親に認めてもらいたいとも思うようになりました。そして、親をサポートしたいという気持ちにもなりました。」「会社からの配慮、温情には仕事で返したいと思っています。清掃チームのみんなの力で会社の環境を（清掃業務を通して）良くしたい！」と語り、また同じ障害を持つ人へは、「社会に出ると、人と人との繋がり、すなわち絆を感じることができます！だから働くことを諦めないで、外に出よう！」とメッセージも送っています。

【取材を終えて～取材担当者コラム】

Hさんは、学生時代に統合失調症を発症しましたが、「今は過去の夢より、ここでの仕事が大切」と語ってくれました。

会社全体で積極的に障害者雇用に取り組む、障害者個人や障害特性を細かに分析し、書面化するなど真剣に取り組んでいる様子が窺えました。職場定着、継続のために個々人に目標を持たせ、向上心を育む社内教育などが印象的でした。

